



# 野々田万照

岐阜の冬の風物詩「ぎふジャズフェスティバル」を来年1月に開催!

## Mantell Nonoda Special Interview

岐阜市のレジデント・ビッグバンド・楽市JAZZ楽団は今年で結成14年目を迎えます。当初よりこの楽団を演奏指導しけん引してきたのが、高橋真梨子のツアーメンバーであり熱帯JAZZ楽団でも活躍するサクソ奏者の野々田万照。楽市JAZZ楽団の活動集大成の場である「ぎふジャズフェスティバル」は1月に開催されるが、彼はこのフェスティバルの総合演出も手掛けています。

### — 楽市JAZZ楽団は結成して14年目になりますね。

初期の頃は団員のほとんど(特に管楽器奏者)がJAZZの演奏経験や習った事がない状態でしたので、初歩の初歩から奏法を教えました。英語で言うなら「This is a pen!」から!(笑)。しかも教えた奏法が翌月の練習の時には、まるでゴムのようになんか吹けない状態に戻っているので大変でした。しかし、何年か教えるうちにだんだんとJAZZ独特の奏法(JAZZ語)が身につくようになって、日常会話程度なら話せるようになりました。この楽団は私がそうやって14年間愛情を注ぎまくって育てた子どもみたいなものですね。もう可愛いくて、目に入れたくないですが(笑)。

### — 音楽やジャズの魅力、ビッグバンドの醍醐味とは?

コロナ禍になって生演奏が聴けなくなって感じた方もたくさんいらっしゃると思いますが、音楽は人間にとってなくてはならないものです。そしてJAZZは自由な音楽です。絵画で言えば真っ白なキャンパスにテーマ(何を描くか)だけ決めてあとはバンドメンバーみんなで好きに描いてみようという感じです。そのメンバーがたくさん居れば自ずと多彩な作品に仕上がります。音楽的にはビッグバンドの音圧はすごいんです。何せ最低でも17人程度奏者が居るので音を出せば空気が振動して客席まで届きます。これは実際にお聴きになれば感じていただけたらと思います。

### — コロナ禍で練習も満足にできない状況だと思いますが、今の楽団の様子はいかがですか?

メンバー全員が揃っての練習はコロナ禍以前と比べると極端に減りましたが、団員は個々で練習して来てくれますから演奏レベルは落ちていないと思います。岐阜市民会館の大ホールでたくさんのお客さんの前で演奏する訳ですから気合を入れずにはられないですし、フェスティバルへのモチベーションも高く保っていると思います。

### — 来年1月に開催される「第14回 ぎふジャズフェスティバル」について魅力などお聞かせください。

岐阜市で本格的なビッグバンドの演奏を楽しめる唯一のイベントではないでしょうか。しかも大ホールで音響も照明も舞台装置も完璧に揃ったステージですからエンターテインメントショーとしても存分にお楽しみいただけます。プロもビックリな団員の演奏技術も大きなセールスポイントです! いつもはスペシャルゲストの出演があるのですが、今回はコロナ禍のため、私をはじめとした講師陣で構成するスペシャルバンドを作りました。東海地方のみならず全国で活躍する凄腕ミュージシャンばかりですので絶対に満足していただけます!!

### — 楽市JAZZ楽団の今後の夢はありますか?

私としてはいずれ楽市JAZZ楽団でCDをリリースしたいです。あとは楽

市JAZZ楽団を中心としたビッグバンドフェスティバルを岐阜市でやってみたいです。どこかに招かれての演奏もいいかも。団員みんなでバスに乗って演奏旅行(^.^)。海の幸が美味しい北陸とかいいかも(笑)。

※楽市JAZZ楽団:岐阜市文化センター・岐阜市民会館のレジデント・ビッグバンド。

## '22 1/16 SUNDAY

【11/16(火) チケットぴあ、ローソンチケットにて先行発売】  
第379回市民の劇場

## 「第14回ぎふジャズフェスティバル」

■会場/岐阜市民会館 大ホール ■開演/14:00

■料金(税込)/全席指定(前売・当日共)

【1階席】一般¥2,800 学チケ¥1,400

【2階席】一般¥2,000 学チケ¥1,000

■お問合せ/岐阜市民会館 TEL.058-262-8111 ※未就学児入場不可

